

2010年度

科目名	ゼミナール I		
担当教員	児玉 公正		
配当	人社3	コード	31140
開期	通年	講時	水曜日1限
単位数	4		
授業テーマ	野球とソフトボールの競技力向上のスポーツ科学		
目的と概要	野球・ソフトボールは守備側の投球からはじまり、それを攻撃側が打撃して走り、それに対し守備側は防御する、というスポーツである。ゼミではそれぞれの運動形態となる「投」、「打」、「守」の技術を理論的に確認し、指導者に必要な情報を獲得する場としたい。各情報は科学に裏付けられたものを極力採用し、4年次に取り組む卒論の課題へと発展する。		
成績評価法	小まめにレポート(50%)を課す。あわせて、授業意欲(10%)や平常点(40%)を加味し総合的に評価する。		
テキスト	バッティングの正体(手塚一志、ベースボールマガジン社) 手塚一志の上達道場 バッティングの巻(手塚一志、ベースボールマガジン社) 和田の130キロ台はなぜ打ちにくい(佐野 真、講談社現代新書) うまくなる野球(新日本石油野球部、西東社)		
参考書	随時紹介する		
履修に当たっての注意・助言	野球やソフトボールの技術に関し指導することを意識し話題を提供する。これからの指導者は、非科学的な情熱と科学的な情報とを武器に、スポーツの楽しさとすばらしさを子どもたちに伝えてもらいたい。これがゼミの根幹である。		
講義計画			
前期	手塚一志のうねり打法		
第1回	オリエンテーション	何を、どのように学ぶか	
第2回	ダブルスピン打法		
第3回	揺らいで		
第4回	踏んで・シンクロ		
第5回	乗せて		
第6回	運んで		
第7回	割れて		
第8回	うねって		
第9回	すくい取る		
第10回	上達への近道		
第11回	クオ・メソッドへの道		
第12回	骨盤帯分割、かませ骨盤、隠し		
第13回	ブラッシング、脊柱ヨジリ、四肢の連結操作		
第14回	インコース対応		
第15回	アウトコース対応		
後期	和田130キロ台はなぜ打ちにくい		
第16回	打てない130キロ台の謎		
第17回	140キロを出すための投球理論		
第18回	和田毅の変遷		
第19回	大学での活躍		
第20回	ストレートの秘密		
第21回	和田毅の卒業論文		
第22回	うまくなる野球		
第22回	内野手のスローイングの基本		
第23回	内野手のゴロとフライ捕球の基本		
第24回	内野手ポジション別基本		
第25回	外野手のスローイングの基本		
第26回	外野手のゴロとフライ捕球の基本		
第27回	捕手の構えと送球		
第28回	捕手の守備		
第29回	グラウンドでの高速度ビデオカメラによる撮影		
第30回	パソコンによる動作分析ソフトの活用		